

ニュージーランド債券オープン 〈為替ヘッジなし〉/〈為替アクティブヘッジ〉 (年2回決算型)

運用報告書(全体版)

第16期(決算日2022年8月12日)

作成対象期間(2022年2月15日~2022年8月12日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	〈為替ヘッジなし〉	〈為替アクティブヘッジ〉
商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2014年8月29日から2024年8月13日までです。	
運用方針	ニュージーランド債券オープン マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主としてニュージーランドドル建ての公社債に投資し、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。実質組入外貨建資産については、金利変動や市場全体のリスクの高まり等を定量的に捉えて、為替ヘッジ比率を調整します。	
主な投資対象	ニュージーランド債券オープン 〈為替ヘッジなし〉/ 〈為替アクティブヘッジ〉 (年2回決算型)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	
主な投資制限	ニュージーランド債券オープン 〈為替ヘッジなし〉/ 〈為替アクティブヘッジ〉 (年2回決算型)	ニュージーランドドル建ての公社債(国際機関債、政府機関債、準政府債(州政府債)、国債、社債等)を主要投資対象とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資は、転換社債を転換したもの等に限る、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資は、転換社債を転換したもの等に限る、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時~午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<為替ヘッジなし>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率			
	円		円		%	%	百万円
12期(2020年8月12日)	10,965		10		4.0	97.8	395
13期(2021年2月12日)	11,509		10		5.1	97.0	342
14期(2021年8月12日)	11,416		10		△0.7	96.7	312
15期(2022年2月14日)	10,621		10		△6.9	97.0	282
16期(2022年8月12日)	11,473		10		8.1	96.7	297

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドはマザーファンドを通じ、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落	率			
(期 首) 2022年2月14日	円		%		%	%
2月末	10,621		—	97.0		—
3月末	10,660		0.4	98.0		—
4月末	11,466		8.0	98.0		—
5月末	11,034		3.9	98.0		—
6月末	11,079		4.3	97.2		—
7月末	11,023		3.8	97.4		—
7月末	11,312		6.5	97.3		—
(期 末) 2022年8月12日	11,483		8.1	96.7		—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<為替アクティブヘッジ>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	騰 落 中 率			
	円		円		%	%	百万円
12期(2020年8月12日)	11,483		10		6.4	96.2	252
13期(2021年2月12日)	11,690		10		1.9	95.9	243
14期(2021年8月12日)	11,316		10		△3.1	95.5	227
15期(2022年2月14日)	10,106		10		△10.6	96.7	190
16期(2022年8月12日)	9,950		0		△1.5	96.5	169

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドはマザーファンドを通じ、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落	率			
(期 首)	円		%		%	%
2022年2月14日	10,106		—		96.7	—
2月末	10,002		△1.0		97.1	—
3月末	9,773		△3.3		98.5	—
4月末	9,496		△6.0		96.1	—
5月末	9,707		△3.9		96.4	—
6月末	9,546		△5.5		96.1	—
7月末	9,933		△1.7		95.8	—
(期 末)						
2022年8月12日	9,950		△1.5		96.5	—

* 騰落率は期首比です。

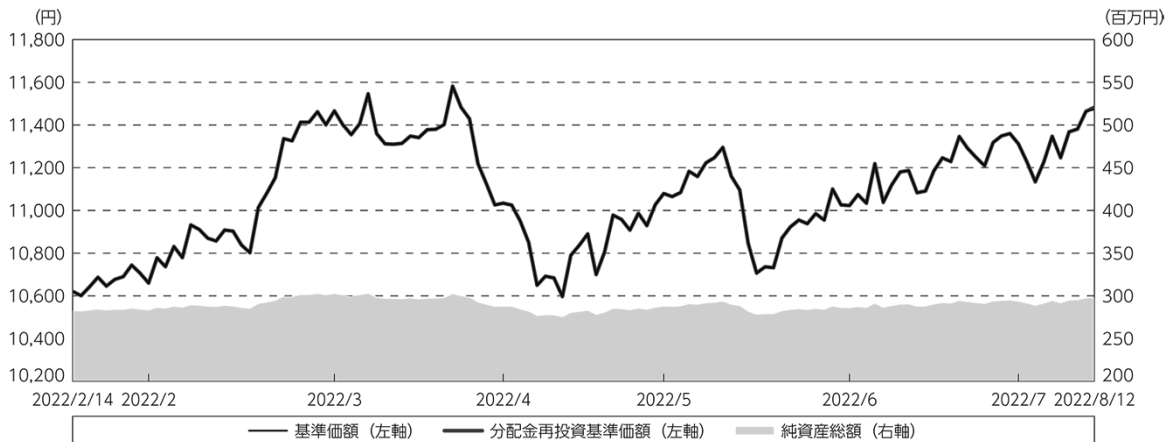
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<為替ヘッジなし>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：10,621円

期 末：11,473円 (既払分配金(税込み)：10円)

騰落率： 8.1% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成年首(2022年2月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

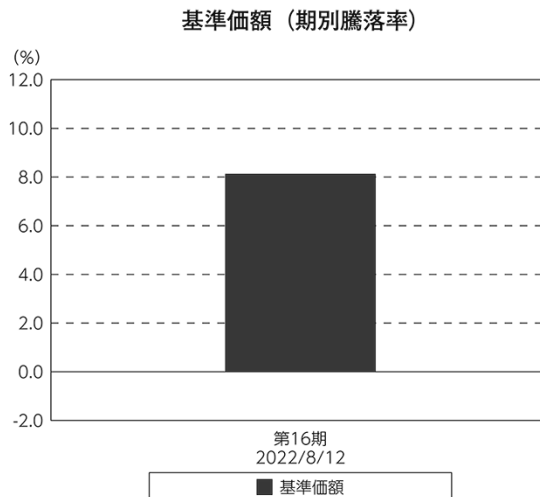
- (上昇要因) ・ 債券保有による利息収入を得られたこと。
 ・ ニュージーランドドルが対円で上昇(円安)したこと。
- (下落要因) ・ 保有する債券の価格が下落したこと。

<為替ヘッジなし>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンドを通じ、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

分配金については、基準価額水準等を勘案し、決定いたしました。
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第16期
	2022年2月15日～ 2022年8月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.087%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,812

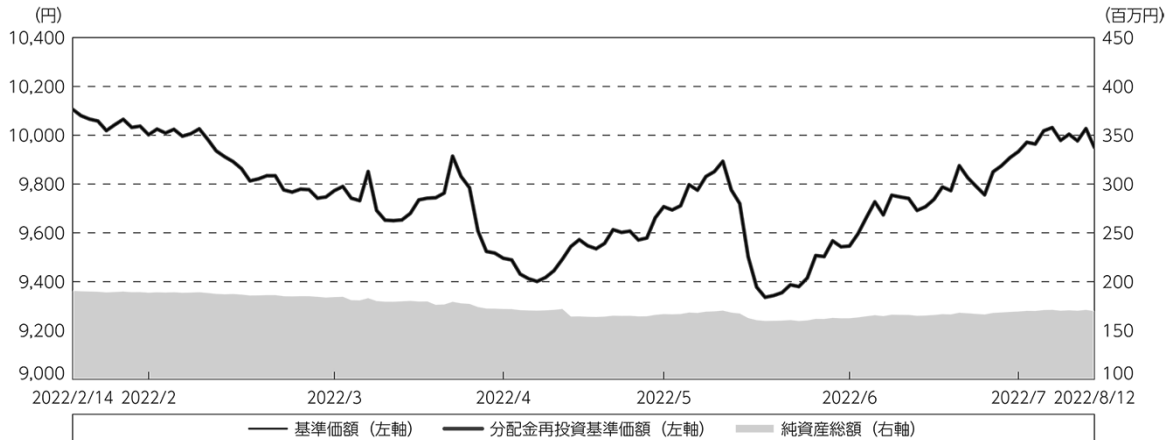
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<為替アクティブヘッジ>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：10,106円

期末：9,950円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 1.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2022年2月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

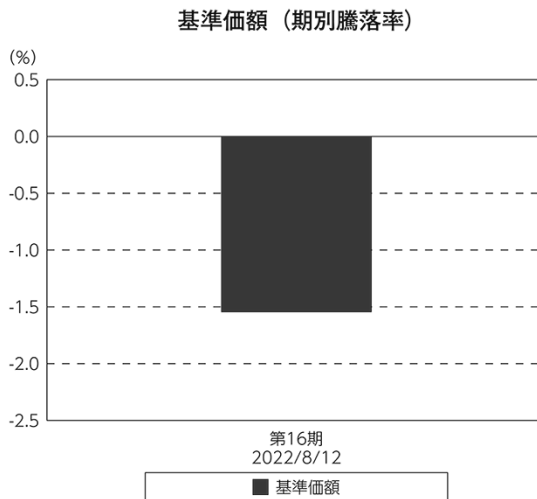
- (上昇要因) ・債券保有による利息収入を得られたこと。
- (下落要因) ・保有する債券の価格が下落したこと。
- (その他要因) ・当作成期間では、ニュージーランドドルが対円で上昇(円安)した局面において、為替ヘッジを行なったことで為替アクティブヘッジの効果は為替ヘッジなしと比較してマイナスに作用しました。

<為替アクティブヘッジ>

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンドを通じ、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

分配金については、基準価額水準等を勘案し、決定いたしました。
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第16期
	2022年2月15日～ 2022年8月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,874

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<為替ヘッジなし/為替アクティブヘッジ>

○投資環境

ニュージーランドドルについては、各国中央銀行の金融引き締めによる景気への悪影響が懸念されたことで、ニュージーランドドルは対円で下落(円高)する局面もありましたが、RBNZ(ニュージーランド準備銀行、中央銀行)が2月の金融政策委員会で量的緩和プログラムによる債券保有を段階的に縮小することを発表したことや、2月から7月にかけての金融政策委員会において、政策金利を引き上げたことなどを背景に、ニュージーランドドルは対円で上昇しました。

債券については、RBNZが金融引き締めの継続を示唆したことや、米国や欧州で国債利回りが上昇した影響を受けて、ニュージーランド国債の利回りは上昇(価格は下落)しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ニュージーランド債券オープン マザーファンド]

<ファンドデュレーション>

RBNZが政策金利の引き上げを継続するなか、デュレーションを前作成期末と概ね同程度としました。当作成期末時点でのファンドのデュレーション^(※)は、5.8年としています。

(※) デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。ファンドデュレーションとは、債券デュレーション×債券組入比率で表されます。

<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案して、高格付けの国際機関債や政府機関債、地方債を中心としたポートフォリオとしました。

[ニュージーランド債券オープン<為替ヘッジなし> (年2回決算型)]

主要投資対象であるニュージーランド債券オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持し、マザーファンドの投資成果を享受するよう努めました。

[ニュージーランド債券オープン<為替アクティブヘッジ> (年2回決算型)]

主要投資対象であるニュージーランド債券オープン マザーファンド受益証券の組入を高位に維持し、マザーファンドの投資成果を享受するよう努めました。

実質外貨建資産については、グローバル関連の指標と、日本とニュージーランドの金利動向の2つの指標について定量分析を行ない、為替ヘッジ比率を決定しました。

<為替ヘッジなし/為替アクティブヘッジ>

◎今後の運用方針

[ニュージーランド債券オープン マザーファンド]

ニュージーランドドル建ての公社債（国際機関債、政府機関債、準政府債（州政府債）、国債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。

・投資戦略

<ファンドデュレーション>

グローバルな経済環境の変化やニュージーランドの政策金利見通しを見極めながらコントロールします。

<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案してアロケーションを決定します。足元の環境では、引き続き国際機関債や政府機関債、地方債を中心としたポートフォリオとする見込みです。

[ニュージーランド債券オープン<為替ヘッジなし> (年2回決算型)]

主要投資対象であるニュージーランド債券オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持し、マザーファンドの投資成果を享受するよう努めます。

[ニュージーランド債券オープン<為替アクティブヘッジ> (年2回決算型)]

主要投資対象であるニュージーランド債券オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持し、マザーファンドの投資成果を享受するよう努めます。

実質外貨建資産については、グローバル関連の指標と、日本とニュージーランドの金利動向の2つの指標について定量分析を行ない、為替ヘッジ比率を決定します。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<為替ヘッジなし>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 2 月15日～2022年 8 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	62	0.556	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(30)	(0.270)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(30)	(0.270)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.009	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	63	0.565	
期中の平均基準価額は、11,095円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

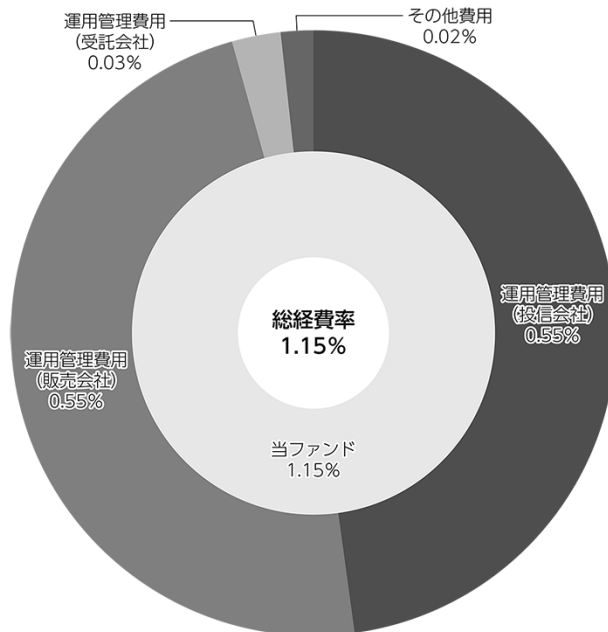
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<為替ヘッジなし>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.15%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<為替ヘッジなし>

○売買及び取引の状況

(2022年2月15日～2022年8月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ニュージーランド債券オープン マザーファンド	千口 498	千円 600	千口 7,986	千円 9,800

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月15日～2022年8月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年8月12日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ニュージーランド債券オープン マザーファンド	千口 240,860	千口 233,372	千円 296,640

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年8月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ニュージーランド債券オープン マザーファンド	千円 296,640	% 99.2
コール・ローン等、その他	2,513	0.8
投資信託財産総額	299,153	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ニュージーランド債券オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,665,627千円)の投資信託財産総額(1,696,321千円)に対する比率は98.2%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1ニュージーランドドル=85.71円。

<為替ヘッジなし>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年8月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	299,153,094
コール・ローン等	2,512,738
ニュージーランド債券オープン マザーファンド(評価額)	296,640,356
(B) 負債	1,868,483
未払収益分配金	259,107
未払信託報酬	1,606,310
その他未払費用	3,066
(C) 純資産総額(A-B)	297,284,611
元本	259,107,477
次期繰越損益金	38,177,134
(D) 受益権総口数	259,107,477口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,473円

(注) 期首元本額は265,707,171円、期中追加設定元本額は664,237円、期中一部解約元本額は7,263,931円、1口当たり純資産額は1.1473円です。

○損益の状況 (2022年2月15日～2022年8月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 27
支払利息	△ 27
(B) 有価証券売買損益	23,928,102
売買益	24,321,583
売買損	△ 393,481
(C) 信託報酬等	△ 1,609,376
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	22,318,699
(E) 前期繰越損益金	7,606,935
(F) 追加信託差損益金	8,510,607
(配当等相当額)	(12,174,140)
(売買損益相当額)	(△ 3,663,533)
(G) 計(D+E+F)	38,436,241
(H) 収益分配金	△ 259,107
次期繰越損益金(G+H)	38,177,134
追加信託差損益金	8,510,607
(配当等相当額)	(12,175,011)
(売買損益相当額)	(△ 3,664,404)
分配準備積立金	60,692,526
繰越損益金	△31,025,999

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2022年2月15日～2022年8月12日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2022年2月15日～ 2022年8月12日
a. 配当等収益(経費控除後)	4,035,754円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	12,175,011円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	56,915,879円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	73,126,644円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,822円
g. 分配金	259,107円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

<為替ヘッジなし>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	10円
------------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<為替アクティブヘッジ>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 2 月15日～2022年 8 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 65	% 0.664	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(37)	(0.378)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(26)	(0.270)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.008	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	66	0.672	
期中の平均基準価額は、9,742円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

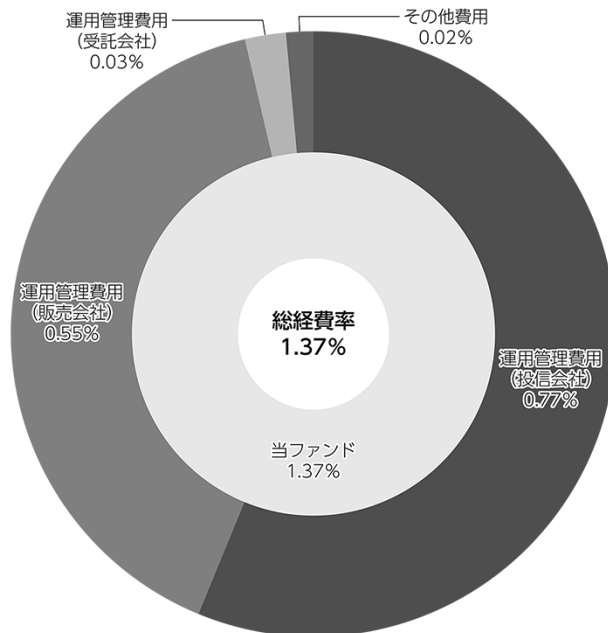
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<為替アクティブヘッジ>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.37%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<為替アクティブヘッジ>

○売買及び取引の状況

(2022年2月15日～2022年8月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設		定		解		約	
		口	数	金	額	口	数	金	額
ニュージーランド債券オープン	マザーファンド		千口		千円		千口		千円
			5,547		6,770		34,703		42,320

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月15日～2022年8月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年8月12日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当		期		末	
		口	数	口	数	評	価	額
ニュージーランド債券オープン	マザーファンド		千口		千口		千円	
			162,172		133,016		169,077	

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年8月12日現在)

項	目	当		期		末	
		評	価	額	比	率	
ニュージーランド債券オープン	マザーファンド		千円				%
			169,077				96.7
コール・ローン等、その他			5,820				3.3
投資信託財産総額			174,897				100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ニュージーランド債券オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(1,665,627千円)の投資信託財産総額(1,696,321千円)に対する比率は98.2%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1ニュージーランドドル=85.71円。

<為替アクティブヘッジ>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年8月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	174,897,373
コール・ローン等	2,544,837
ニュージーランド債券オープン マザーファンド(評価額)	169,077,602
未収入金	3,274,934
(B) 負債	5,139,380
未払金	3,983,018
未払信託報酬	1,154,542
その他未払費用	1,820
(C) 純資産総額(A-B)	169,757,993
元本	170,607,640
次期繰越損益金	△ 849,647
(D) 受益権総口数	170,607,640口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,950円

(注) 期首元本額は188,502,521円、期中追加設定元本額は2,452,626円、期中一部解約元本額は20,347,507円、1口当たり純資産額は0.9950円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額170,559円。

○損益の状況 (2022年2月15日～2022年8月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 73
支払利息	△ 73
(B) 有価証券売買損益	△ 1,425,682
売買益	25,205,241
売買損	△26,630,923
(C) 信託報酬等	△ 1,156,362
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,582,117
(E) 前期繰越損益金	△ 7,301,674
(F) 追加信託差損益金	9,034,144
(配当等相当額)	(8,868,175)
(売買損益相当額)	(165,969)
(G) 計(D+E+F)	△ 849,647
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 849,647
追加信託差損益金	9,034,144
(配当等相当額)	(8,870,951)
(売買損益相当額)	(163,193)
分配準備積立金	40,177,798
繰越損益金	△50,061,589

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2022年2月15日～2022年8月12日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2022年2月15日～ 2022年8月12日
a. 配当等収益(経費控除後)	1,311,071円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	8,870,951円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	38,866,727円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	49,048,749円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,874円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

<為替アクティブヘッジ>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2022年8月12日現在)

<ニュージーランド債券オープン マザーファンド>

下記は、ニュージーランド債券オープン マザーファンド全体(1,334,531千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 20,820	千ニュージーランドドル 19,184	千円 1,644,346	% 96.9	% —	% 59.7	% 23.6	% 13.7
合 計	20,820	19,184	1,644,346	96.9	—	59.7	23.6	13.7

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	
国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5	1,120	1,172	100,516	2027/4/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.0	2,000	1,955	167,634	2029/4/20
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.5	1,400	1,200	102,874	2031/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.75	1,500	1,091	93,540	2041/5/15
地方債証券	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	4.5	3,400	3,489	299,104	2027/4/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	3.5	2,700	2,552	218,756	2033/4/14
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	2.0	1,000	740	63,433	2037/4/15
特殊債券 (除く金融債)	ASIAN DEVELOPMENT BANK	3.5	2,000	1,987	170,357	2024/5/30
	ASIAN DEVELOPMENT BANK	1.125	2,000	1,727	148,098	2028/2/10
	INTL BK RECON & DEVELOP	0.625	3,000	2,552	218,786	2027/9/24
	LANDWIRTSCH. RENTENBANK	5.375	700	714	61,244	2024/4/23
合 計					1,644,346	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

ニュージーランド債券オープン マザーファンド

運用報告書

第8期（決算日2022年2月14日）

作成対象期間（2021年2月13日～2022年2月14日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ニュージーランドドル建ての公社債（国際機関債、政府機関債、準政府債（州政府債）、国債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。 投資する公社債は、原則として、投資時点においてBBB-格相当以上の格付け（投資適格格付け）を有する公社債、または同等の信用度を有すると判断される公社債とします。
主な投資対象	ニュージーランドドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資は、転換社債を転換したもの等に関し、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券率	債先物比率	純総資産額
		期騰	中率				
4期(2018年2月13日)	円 11,035		% 1.3	% 97.4	% -	百万円 3,404	
5期(2019年2月12日)	11,172		1.2	97.4	-	2,716	
6期(2020年2月12日)	11,311		1.2	97.9	-	2,433	
7期(2021年2月12日)	12,500		10.5	97.5	-	2,215	
8期(2022年2月14日)	11,689		△6.5	97.2	-	1,754	

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

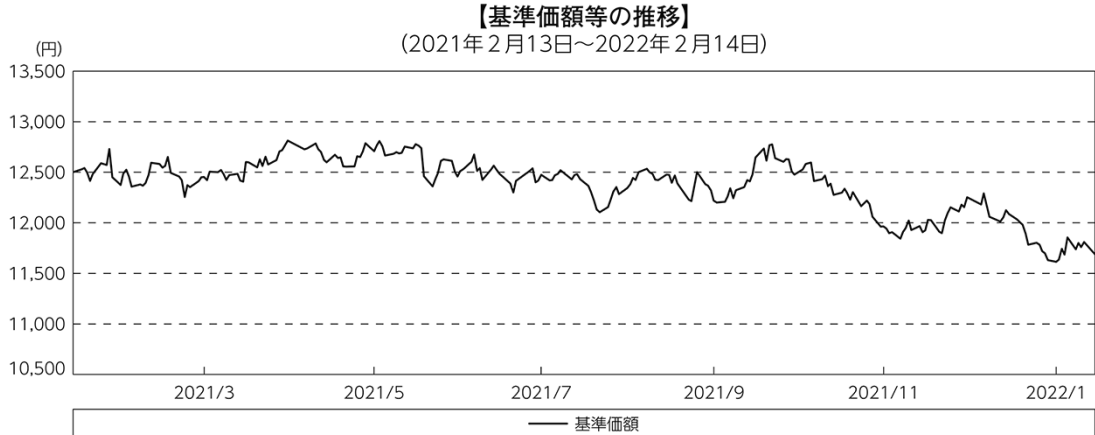
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率
		騰	落				
(期首) 2021年2月12日	円 12,500		% -	% 97.5	% -	% -	
2月末	12,450		△0.4	97.5	-	-	
3月末	12,453		△0.4	96.4	-	-	
4月末	12,814		2.5	98.2	-	-	
5月末	12,707		1.7	97.3	-	-	
6月末	12,458		△0.3	98.3	-	-	
7月末	12,475		△0.2	97.6	-	-	
8月末	12,382		△0.9	97.1	-	-	
9月末	12,220		△2.2	98.3	-	-	
10月末	12,478		△0.2	98.2	-	-	
11月末	11,964		△4.3	97.2	-	-	
12月末	12,253		△2.0	96.4	-	-	
2022年1月末	11,615		△7.1	96.6	-	-	
(期末) 2022年2月14日	11,689		△6.5	97.2	-	-	

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・債券保有による利息収入を得られたこと。
- ・ニュージーランドドルが対円で上昇（円安）したこと。

(下落要因)

- ・保有する債券の価格が下落したこと。

○当ファンドのポートフォリオ

<ファンドデュレーション>

RBNZ（ニュージーランド準備銀行）が政策金利を引き上げたなか、デュレーションを前作成期末から短期化しました。当作成期末時点でのファンドのデュレーション^(※)は、5.9年としています。

(※) デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。ファンドデュレーションとは、債券デュレーション×債券組入比率で表されます。

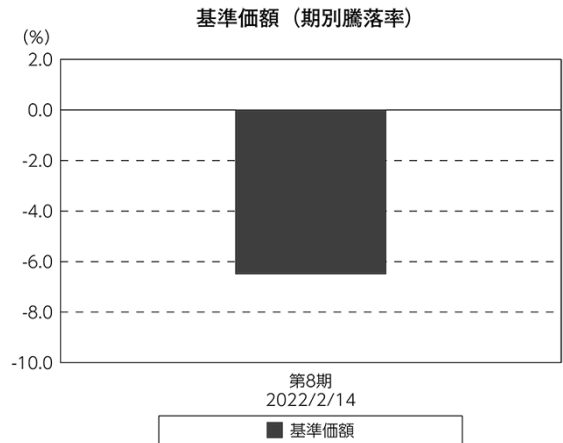
<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案して、高格付けの国際機関債や政府機関債、地方債を中心としたポートフォリオとしました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、ニュージーランドドル建ての公社債に投資しておりますが、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

ニュージーランドドル建ての公社債（国際機関債、政府機関債、準政府債（州政府債）、国債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。

・投資戦略

<ファンドデュレーション>

グローバルな経済環境の変化やニュージーランドの政策金利見通しを見極めながらコントロールします。

<セクター・アロケーション>

利回り水準・信用力を勘案してアロケーションを決定します。足元の環境では、引き続き国際機関債や政府機関債、地方債を中心としたポートフォリオとする見込みです。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年2月13日～2022年2月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.014	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	2	0.014	
期中の平均基準価額は、12,355円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2021年2月13日～2022年2月14日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル
外 国	ニュージーランド	地方債証券	—	1,850
		特殊債券	—	1,641

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

○ 利害関係人との取引状況等

(2021年2月13日～2022年2月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年2月14日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 22,880	千ニュージーランドドル 22,244	千円 1,705,448	% 97.2	% —	% 77.3	% 19.9	% —
合 計	22,880	22,244	1,705,448	97.2	—	77.3	19.9	—

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	
国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5	1,500	1,632	125,159	2027/4/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.0	2,000	2,033	155,936	2029/4/20
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.5	1,400	1,254	96,151	2031/5/15
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.75	1,500	1,205	92,462	2041/5/15
地方債証券	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	4.5	3,400	3,632	278,530	2027/4/15
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	3.5	2,700	2,723	208,835	2033/4/14
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	2.0	1,000	813	62,359	2037/4/15
特殊債券 (除く金融債)	ASTAN DEVELOPMENT BANK	3.5	2,000	2,041	156,529	2024/5/30
	ASTAN DEVELOPMENT BANK	1.125	2,000	1,772	135,897	2028/2/10
	INTL BK RECON & DEVELOP	0.625	3,000	2,620	200,946	2027/9/24
	LANDWIRTSCH. RENTENBANK	5.375	2,380	2,512	192,638	2024/4/23
合 計					1,705,448	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年2月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 1,705,448	% 96.9
コール・ローン等、その他	54,665	3.1
投資信託財産総額	1,760,113	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産(1,729,764千円)の投資信託財産総額(1,760,113千円)に対する比率は98.3%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1 ニュージーランドドル=76.67円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年2月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,760,113,906
コール・ローン等	38,920,510
公社債(評価額)	1,705,448,390
未収利息	15,745,006
(B) 負債	5,920,012
未払解約金	5,920,000
未払利息	12
(C) 純資産総額(A-B)	1,754,193,894
元本	1,500,731,323
次期繰越損益金	253,462,571
(D) 受益権総口数	1,500,731,323口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,689円

(注) 期首元本額は1,772,715,216円、期中追加設定元本額は33,098,103円、期中一部解約元本額は305,081,996円、1口当たり純資産額は1.1689円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・ニュージーランド債券オープン<為替ヘッジなし>(毎月分配型) 663,967,739円
- ・ニュージーランド債券オープン<為替アクティブヘッジ>(毎月分配型) 271,584,640円
- ・ニュージーランド債券オープン<為替ヘッジなし>(年2回決算型) 240,860,520円
- ・ニュージーランド債券オープン<為替アクティブヘッジ>(年2回決算型) 162,172,785円
- ・野村ニュージーランド債券ファンド(毎月分配型) 114,028,844円
- ・野村ニュージーランド債券ファンド(年2回決算型) 48,116,795円

○損益の状況 (2021年2月13日~2022年2月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	56,736,999
受取利息	56,741,902
支払利息	△ 4,903
(B) 有価証券売買損益	△180,133,378
売買益	37,417,361
売買損	△217,550,739
(C) 保管費用等	△ 287,270
(D) 当期損益金(A+B+C)	△123,683,649
(E) 前期繰越損益金	443,158,327
(F) 追加信託差損益金	7,619,897
(G) 解約差損益金	△ 73,632,004
(H) 計(D+E+F+G)	253,462,571
次期繰越損益金(H)	253,462,571

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。